

「ワインの魅力」

(第三十二回)

今年の11月第3木曜日は11月21日。ポージョレヌーヴォー解禁の日である。日本は時差の関係で世界で一番早く味わうことができるのだ。

ブドウの生育は順調で、まろやかな味が期待されている。

徳島にはワインを学び楽しむ和飲学園があり、私は以前にドイツのワイナリーの経営者にお会いした。家族で心を込めてブドウを育てワインを作っている。実は、大作曲家ベートーヴェンの母マリアの実家はワイン醸造所を営んできており、その子孫にあたる人なのだ。ベートーヴェンはソースのかかった魚、焼いた子牛の肉油で揚げたソーセージ、卵10個分のオムレットと一緒にワインを飲むのが大好きだったという。どうも、彼は飲

健康のススメ

板東 浩

み過ぎて健康を害したようだ。しかし、ワインとは適量を嗜むと元気になるはず。医学の祖と言われるヒポクラテスは「薬の中でワインは最も有益である」と。薬効をもつ溶剤や傷薬としても用いられた。

赤ワインのポリフェノールが動脈硬化に効くことは有名だ。ただ、ポリフェノールとは一つの物質ではなく、数千種以上もある。豆類のイソフラボンやお茶のカテキンも同じ仲間で、数多くの食品に含まれている。最近、白ワインの抗菌作用が知られつつあるので、お刺身好きの日本人にはよいだろう。

ベートーヴェンはワインを片手に名曲「喜びの歌」を作曲したという。これを真似てあなたもワイングラスを傾けてはいかがですか。でも心と身体が喜ぶには、くれぐれもほどほどにね。(医学博士・内科医師)